



スマートインフラマネジメントシステムの構築

サブ課題e-2

EBPMによる地域インフラ群マネジメント構築に関する技術

第2回EBPMによる地域インフラ群マネジメントに関するシンポジウムを開催しました

2024年10月4日（金）に高知県城西館にて「第2回EBPMによる地域インフラ群マネジメントに関するシンポジウム」を開催しました(主催：SIPインフラe-2、後援：高知工科大学、日本アセットマネジメント協会)。

本シンポジウムでは、PDの久田教授(東北大)よりスマートインフラプロジェクトの概要と展望に関する講演が行われました。続いて、社会実装担当者の小林名誉教授(京都大)からは、インフラ群マネジメントの便益とその達成に向けた課題についての解説がありました。研究開発責任者の貝戸教授(大阪大)はインフラ群マネジメントのために統計的劣化予測技術が果たす役割について講演し、課題間連携担当者の長山教授(東京大)は簡易機材による高頻度計測を活用した予防保全型のメンテナンスサイクルの構築について発表しました。また、鉄道総合技術研究所の松岡主任研究員による鉄道設備におけるアセットマネジメントの試行に関する講演、小濱准教授(高知工科大)による斜面防災におけるデータ駆動型マネジメントについての講演も行われました。会場とオンライン合わせて参加者は約300名と、多数の方々にご参加いただきました。今後もSIPインフラe-2は、インフラマネジメントに関する課題の共有と解決策の模索に努めながら、研究成果の社会実装に向けた取り組みを一層推進してまいります。



研究開発責任者
貝戸教授(大阪大)の講演



プログラムディレクター(PD)
久田教授(東北大)の講演



社会実装担当者
小林名誉教授(京都大)の講演